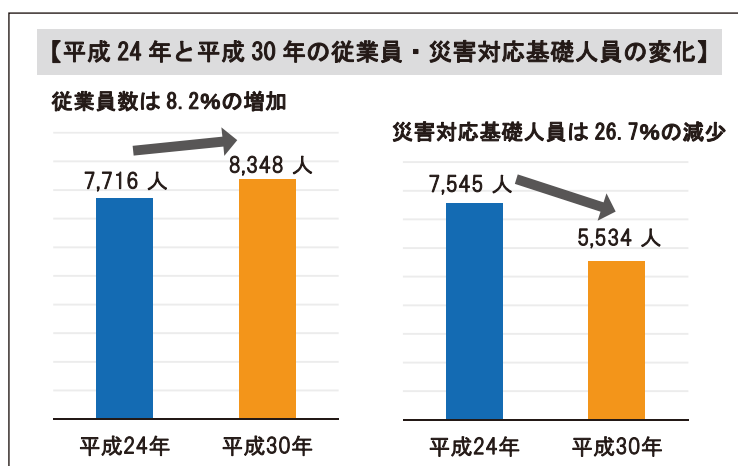


# 災害対応組織力を確保・維持するための提言

(一社) 群馬県建設業協会

業界の課題は、週休二日制を軸にした「働き方改革」と「生産性の向上」であります。人口減少社会に向けた「人材確保育成」の取り組みにしっかりと正面から向き合わなければなりません。省人化に向けた「ICT活用施工」を軸にした「生産性革命」を幅広く深化させていく必要があります。

加えて、毎年全国各地で頻発する自然災害や除雪に確実に対応できる「地域を守る」建設業の役割が明確になる中での「災害対応組織力」の一層の強化が求められています。持続的かつ計画的に必要な公共事業予算が確保されなければ、地方の建設会社は、経営・投資計画も立てられないばかりでなく、人材確保・育成もできない状況にあります。



今回の冊子「『災害対応組織力』は怎么样了か？」においては、現在の建設業界が災害に対応できる組織となっているかを調査し、災害列島日本において万一の時にも我々の生活を守ることができるのかを検証するとともに、災害対応組織力を確保・維持していくために必要な以下の項目について提言するものであります。

## 記

- 一. 社会資本整備及び維持管理に関する中長期的な事業計画に基づく計画的な予算確保と事業執行
- 一. 地方の防災危機管理体制を維持するための公共事業予算の安定的確保
- 一. 頻発する災害に対応するための大規模な補正予算の編成
- 一. 災害時の緊急対応、除雪等の「地域を守る」建設業の組織力強化と地方建設業の安定的経営基盤の確保
- 一. 人材確保育成・週休二日制を踏まえた「働き方改革」の推進
- 一. 「生産性革命 深化の年」・ICT活用の推進